

北海道高等学校研究大会 第53回大会
地歴・公民部会 倫理分科会 研究発表

テーマ

「必修授業『倫理』における授業展開と多様な学習評価」

～必修授業における言語活動の取り組みを中心に～

期 日 平成28年1月8日

会 場 北海道有朋高等学校

発表者 北海道岩内高等学校

教諭 小川 正 明

学校概要

北海道岩内高等学校

1 学校教育目標

- (1) 豊かな人間性を育む
- (2) 自ら学ぶ意欲を育む
- (3) 健康な心身を育む

2 教育課程編成の方針

- (1) 教科と特別活動の調和を図り、創意工夫が生かされた教育課程を編成する。
- (2) 教育指導内容の精選・充実に努め、基礎・基本の定着を図る教育課程を編成する。
- (3) 普通科への単位制導入に向けて、生徒の実態、本校の教育実践の成果を踏まえ、一人ひとりの自己実現を叶えることができる教育課程の改善に努める。

3 職員構成（平成27年5月1日現在）

校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	事務長	事務職員	用務員	計	時間講師	ALT
1	1	34	1	1	1	2	1	42	2	1

※教諭・養護教諭・実習助手の年齢構成…

再任用：2名 50代：7名 40代：8名 30代：16名 20代：3名

4 生徒の状況（平成27年5月1日現在）

(1) 在籍生徒数

		1学年	2学年	3学年	合計
事務情報科 (各学年1学級)	男	15	17	12	44
	女	5	6	8	19
	計	20	23	20	63
普通科 (各学年3学級)	男	32	41	52	125
	女	53	59	48	160
	計	85	100	100	285
計(各学年4学級)		105	123	120	348

(2) 部活動

	部局員数	加入率
常任局(7局)	63名	18%
文化局(8部)	84名	24%
体育局(11部)	161名	46%
計(26部局)	308名	89%

5 卒業生進路状況

別紙参照

平成27年3月 卒業生進路状況

1. 卒業生数

平成27年4月1日現在

	事情科	普通科	合計
男子	19	71	90
女子	14	45	59
合計	33	116	149

2. 進路別

		就職	就職 進学	自営 家事	就職 未定	進学	進学 未定	合計
事情科	男子	17	0	1	0	1	0	19
	女子	8	0	0	0	6	0	14
	合計	25	0	1	0	7	0	33
	%	75.8%	0.0%	3.0%	0.0%	21.2%	0.0%	—
普通科	男子	23	0	1	0	46	1	71
	女子	9	0	0	0	36	0	45
	合計	32	0	1	0	82	1	116
	%	27.6%	0.0%	0.9%	0.0%	70.7%	0.9%	—
学年計	男子	40	0	2	0	47	1	90
	女子	17	0	0	0	42	0	59
	合計	57	0	2	0	89	1	149
	%	38.3%	0.0%	1.3%	0.0%	59.7%	0.7%	—

※就職進学は、就職者数の内数

3. 就職及び進学の内訳

		就職					進学					
		管内	札幌	その他		就職計	大学	短大	専学 修校	看護 ・外	管轄 外	進学計
			道内	関東	道外・他							
事情科	男子	8	5	4	1	0	18	1	0	0	0	1
	女子	5	2	1	0	0	8	0	0	6	0	6
	合計	13	7	5	1	0	26	1	0	6	0	7
普通科	男子	17	2	4	0	1	24	21	0	21	4	46
	女子	7	2	0	0	0	9	13	10	11	2	36
	合計	24	4	4	0	1	33	34	10	32	6	82
学年計	男子	25	7	8	1	1	42	22	0	21	4	47
	女子	12	4	1	0	0	17	13	10	17	2	42
	合計	37	11	9	1	1	59	35	10	38	6	89

※就職者数には、自営家事を含んでいない

平成27年度 入学者教育課程表(事務情報科)

教科	学年 科目・標準単位数 類型		1 年	2 年	3 年	計
国語	国語総合	4	2	2		4
	国語表現	3			3	3
地理 歴史	世界史A	2			2	2
	日本史A	2		2		2
公民	現代社会	2	2			2
数 学	数学I	3	3			3
	数学A	2		2	2	4
	数学活用	2			2	0~2
理 科	科学と人間生活	2	2			2
	化学基礎	2		2		2
	生物基礎	2			2	2
保健 体育	体育	7~8	2	2	3	7
	保健	2	1	1		2
芸 術	音楽I	2	2			0~2
	音楽II	2		2		0~2
	美術I	2	2			0~2
	美術II	2		2		0~2
	書道I	2	2			0~2
	書道II	2		2		0~2
外国 語	コミュニケーション英語I	3	2	2		4
	英語表現I	2			2	2
	英語会話	2			2	0~2
家庭	家庭総合	4	2	2		4
商 業	ビジネス基礎	2~6	3		2	3
	課題研究	2~6		1	2	3
	総合実践	2~6			2	2
	マーケティング	2~6		3		0~3
	広告と販売促進	2~6			3	0~3
	経済活動と法	2~6		3	2	3
	簿記	2~6	4	4		8
	財務会計I	2~6			3	0~3
	原価計算	2~6		3		0~3
	情報処理	2~6	3			3
	ビジネス情報	2~6		3		3
	電子商取引	2~6			2	0~2
ビジネス情報管理	2~6			3	3	
総合的な学習の時間 CAST		3~6	1	1	1	3
合 計			29	29	29	87
特別 活動	ホームルーム活動		1	1	1	3

平成27年度 入学者教育課程表(普通科)

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年		2 年		3 年		計		
					文理型	一般型	文理型	一般型	文理型	一般型	
国語	国語総合	4	4						4	4	
	国語表現	3						3		3	
	現代文 B	4		2	2	2	2		4	4	
	古典 A	2			2					2	
	古典 B	4		2			2		4		
	○国語教養	2				2					0~2
	○現代文読解	2			2						0~2
地理歴史	世界史 A	2	2							2	
	日本史 B	4		4	4		2		2	0~6	
	地理 B	4		4			2	2		4~6	
公民	倫理	2						2	2	2	
	政治・経済	2						2	3	2	
数学	数学Ⅰ	3	3							3	
	数学Ⅱ	4		3	3					3~6	
	数学Ⅲ	5						5		0~5	
	数学 A	2	2			5				2	
	数学 B	2		2	2		5			2	
理科	科学と人間生活	2	2							2	
	物理基礎	2		2						0~2	
	物理	4					4			0~4	
	化学基礎	2	2		2			4		2	
	化学	4			2			2		4	
	生物基礎	2		2	2				4	0~4	
保健体育	体育	7~8	2	2	2		3		3	7	
	保健	2	1	1	1					2	
芸術	音楽Ⅰ	2	2							0~2	
	音楽Ⅱ	2			2					0~2	
	音楽Ⅲ	2						2		0~2	
	美術Ⅰ	2	2	2						0~2	
	美術Ⅱ	2			2	2				0~2	
	美術Ⅲ	2						2	2	0~2	
	書道Ⅰ	2	2							0~2	
	書道Ⅱ	2			2					0~2	
	書道Ⅲ	2						2		0~2	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	4							4	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4	4					4	
	コミュニケーション英語Ⅲ	4					4	4		4	
	英語表現Ⅰ	2	2							2	
	英語表現Ⅱ	4		2		2				4	
	○英語ベーシック	2			2					2	
	○英語アドバンス	2					2			0~2	
	○英語スタンダード	2						2		0~2	
家庭	家庭基礎	2		2						2	
	家庭総合	4			2			2	2	4	
情報	社会と情報	2	2							2	
商業	簿記	2~6				2				0~2	
	情報処理	2~6						2		0~2	
総合的な学習の時間 CAST		3~6	1	1	1	1	1	1	3	3	
合 計			29	29	29	29	29	29	87	87	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1	3	3	

岩内高校年間学習指導計画

教科	公民科	(計画時)	教科主任	担当者
科目	倫理	(実施後)		小川正明
				小川正明

倫理	3年普通科 文理型(必修)	使用教材
	単位数 2	<ul style="list-style-type: none"> 教科書：高等学校 新倫理 最新版(清水書院) 資料集：新訂版 倫理資料集(清水書院) 問題集：パスポート 新訂版 倫理 問題集(清水書院)

この科目の目標・評価規準

- (1) 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める。
 (2) 人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育む。

	評価の観点	観点別の目標(評価規準)	評価材料	割合
①	関心・意欲・態度	自己形成について関心を高め、自己の確立に努める実践的意欲をもち、人間としての在り方・生き方についての自覚を深めようとする。	授業の状況・授業プリントの取り組み状況・自己評価シート	15%
②	思考・判断・表現	自己の確立について広く課題を見だし、人間の存在や価値などについて考察し探究するとともに、主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	定期試験・小テスト・課題プリント・自己評価シート	15%
③	資料活用の技能	諸資料を様々なメディアを通じて情報を収集し、有用な情報を適切に選択して、これらを他者と共に生きる主体としての自己の確立に資するよう活用している。	定期試験・小テスト・課題プリント	25%
④	知識・理解	基本的な事柄を、自己確立の課題とつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身に付けている。	定期試験・小テスト	45%

【前期】

月	単元・内容	予定 時数	学 習 目 標	主な評価材料	実施 時数	備考
4	(1)現代に生きる自己の課題 ①人間とは何か ②青年期の課題と自己形成	4	自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題に理解し、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考え、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえる。	授業プリント(①) 課題プリント(②~④) 小テスト(②~④) 定期試験(②~④)		
	(2)人間としての在り方 生き方 ア：人間としての自覚					
5	①人生における哲学	6	人間の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深める。	授業プリント(①) 課題プリント(②~④) 小テスト(②~④) 定期試験(②~④)		
6	②人生における宗教	12				
7	③人生の知恵	7				
8	④人生における芸術	1				
9	イ：国際社会に生きる日本人としての自覚 ①日本の風土と外来思想の受容 ②現代の日本と日本人としての自覚	5				

【後期】

10	(3)現代と倫理 ア：現代に生きる人間の倫理 ①現代の倫理的課題 ②現代に生きる人間の倫理	1 17	現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深め、自己の生き方の確立をめざすとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深める。	授業プリント(①) 課題プリント(②~④) 小テスト(②~④) グループワーク(②~③) 定期試験(②~④)		
11 12 1	イ：現代の諸課題と倫理	7				

1 アイデアを求めて

○1 プラトン (前427~前347) ...ソクラテスの精神を受け継ぐ
 ・主著:『饗宴』『国家』『パイドン』等の対話篇
 ・学園(アカデメイア)を開く

○2 アイデア (Idea) ...理性的・不変的・普遍的な「ものそのもの」
 ・とくに、人間の徳、美などの価値について、その存在を説く
 ・感覚的世界(現象界)を越え、
 [3 理性]のみがとらえる[4 アイデア界] (観智界、本体界)に存在
 →個々の事物や価値の理想的な[5 原型]となるもの

○6 善のアイデア]...最高のアイデア
 (アイデアの中のアイデア) →哲学の課題=善のアイデアを認識すること

2 エロースとアナムネーシス

○「洞窟の中の囚人」



囚人は縛られているので、振り返って太陽(善のアイデア)を見ることができない
 →様々なものの投げかける影(現象)だけを真に存在するものと見なす

○想起(7 アナムネーシス)
 ...人間の魂がアイデアを思い起こし、アイデアに向かうこと

○8 エロース]...完全なものへの思慕
 ・魂をアイデアへと向かわせる動機となる
 ・人間の徳を向上させる原動力となる
 「愛」とも訳される → 下から上への愛

3 四元徳と理想国家

○魂の三分説

- ・[9 理性]]...本来アイデア界に属し、善に向かうもの
- ・[10 気概]] (意志)
- ・[11 欲望]] (情欲) } 肉体に属するもの



- ▶「神的世界」をプラトンなりに明確化
- ▶二元論的世界観
 ・現実世界
 ・理想世界(アイデア界)
- ▶「太陽」に例えられる

▶「善・美・正」に触れて
 思い出す
 女魂→人間とアイデア界の
 唯一の接点
 (永遠不変で不死)

○魂の働きと徳

(働き)	(徳)	(身分)	(仕事)
①理性 → [12 知性]	[17 統治者]	→ 政治	
②気概 → [13 勇気]	[18 護衛者]	→ 防衛	
③欲望 → [14 節制]	[19 生産者]	→ 生産	
3つの調和=[15 正義]	[16 四元徳]		

○17 哲人政治家]...哲学者=統治者となる必要あり
 ・プラトンの[18 理想国家]をめぐる主張
 →アテネの政治への批判から生まれる

☆4つの徳のうち、どれが大切だと思う? それはどうして?
 知性だと思っています。人間の本质は理性だと思ってるので、
 理性の働きが大切だと思ってるからです。あと、理性は
 善に向かうものだから、それと結びつく知性だと思ってるからです。

note

▶ 全て不完全、永続性なし

善のアイデアを認識すること = 善き知性
 プラトン ヲクラテス

アフロディーテ

- ・高貴な恋 → 魂への愛 = 同性愛 (同性愛)
- ・低俗な恋 → 肉体への愛 = 異性愛

理屈で説明できない → 一目ぼれ



☆この授業について(自己評価) ...
 関心が深まり、意欲的に学びましたか? → [A・B・C] 内容を理解できましたか? → [A・B・C]
 memo:

と、とてもわかりやすかった。アイデアの世界に興味をもった。

① p.100

◎実存主義の思想

※[1 実存主義] : 具体的な個々の人間、現実存在する人間の問題にする

1. 真理とは主体的真理のことである—キルケゴール

○[2 キルケゴール] (1813~1855, デンマーク)

<関心事>⇒[3 主体的真理] (自分の命を賭けられる真理) の発見

<実存の三契機と本来の生き方>

・実存=自分と世界に関わり合いながら自分に成って行くあり方
 *「自分に成る」とは、本来の生き方をする事・単独者となること

①[4 美的実存] = 享乐的 (快樂的) 生き方

↓ (倦怠感と虚無感に襲われる)

②[5 倫理的実存] = 道徳的・倫理的な生き方

↓ (自己の有限性と罪深さを自覚)

③[6 宗教的実存] = 「おそれとおののき」に耐え、

神の前にただ一人立つあり方

⇒[7 単独者] (本来の生き方)

*③への飛躍は「8 悔い改む病」=「9 絶望」によって可能

▶ 生きを希望はないが、死ぬこともできない

☆美的実存 (「あれも、これも」の状態) になっていると思ったこと、ありますか?

趣味の時間をじりたいけど、気が散るな!! の状態。

☆倫理的実存 (道徳的・倫理的な生き方) に限界や罪深さを感じたこと、ありますか?

日記エント 続かない。

-7-

② p.202

2. 超人の思想—ニーチェ

○[10 ニーチェ] (1844~1900, 独)

・西洋文明の基盤=ギリシャ哲学・キリスト教思想⇒西洋文化衰退の原因

<理由>①ギリシャ哲学⇒理性重視・パトス否定 感情・情念

②キリスト教⇒[11 レヴァンチマン] (怨恨) に基づく弱者の

論理

<結果>⇒[12 ニヒリズム] (虚無主義) に陥る

…信すべきものや生きる目標が喪失した状態

⇒ニヒリズムの絶え間ない繰り返し=「13 永劫回帰」

↓克服するにはどうすればよいのか?

※19世紀「水平化の時代」
⇒自己疎外の進行



主体性が
真理である。

▶ 「あれも、これも」

▶ 「あれか、これか」の選択



神は死んだ!

▶ キリスト教批判

▶ 一切の価値を否定する立場

①「14 神は死んだ!」ことを認めること (キリスト教の否定)

②「15 力の意志」を持つこと

③ニヒリズムを「16 運命論」として肯定的・積極的に受け入れること

*①~③を実現・実践できる者⇒「17 超人」

▶ 無価値な人生を直視し、乗り越える力をもってか。

▶ キリスト教を捨て、より強大なものこそ善とする

超人的ニヒリズム

※キルケゴールとニーチェの共通点と相違点

<共通点>

○主体的な人間のあり方を問題

・キルケゴール⇒[3 主体的真理] と[7 単独者] を探求

・ニーチェ⇒[17 超人] 思想の展開

<相違点>

・キルケゴール⇒真のキリスト教徒としてのあり方 (真の信仰) の探求

・ニーチェ⇒「神の死」宣言、キリスト教 (18 救世主論) を否定

very good!

note

キルケゴール

相次ぐ家来の死は、父が如何に飢えと寒さから神を呪った罪によるものか。衝撃をうける。

「大地獄」

父の罪を受け継いでいる!!!

↓

小ざわしくない 僕は君に

かえる

信納を解消

ニーチェ

神は死んだ!

克服のために

神は死んだ!

① 神は死んだ!と認める

② ニヒリズムを運命論として受け入れる

③ カハル意志

④ 超人

「運命論」

☆この授業について (自己評価) ...

関心が深まり、意欲的に学べましたか? ⇒ [A・B・C]

内容を理解できましたか? ⇒ [A・B・C]

memo:

【単元のねらい】
 ◎自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深める。(引き続き)
 ◎ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教について、一神教的な特色とそれぞれの教えの特徴を理解する。
 ◎キリスト教の人間観や、イスラーム教にみられる共同体の在り方や人間相互のつながりについて、自己の課題と結びつけて思索を深める。

1 キリスト教の母胎：ユダヤ教の特質

○[1 ユダヤ教]…キリスト教・イスラームの母体

・神は[2 ヤハウェ] (ヤ・ウェ、エホバ)

創造神：宇宙万物を創造した *人間の神の被造物

買46

人格神：神は人に話し、命令し、契約を結ぶ → 唯一神 (神教)

人を愛し赦す、背くと罰する [3 裁きの神] 絶対神

*イスラエル民族の祖 [4 アブラハム] の話 (資 p46②)

イスラエル人は契約にもとづく「神の民」= [5 選民思想]

…神の意志として示された [6 律法] の遵守 → 救済

→ 救済に値するか常にチェック
 → 不徳行だと怒りの神へ
 特権ではなく
 神の「僕」としての
 責任、義務を負う
 → キリスト教の経典でもある

○ [7 旧約聖書] …イスラエル人の歴史と信仰の書

前 15 世紀…パレスチナ定住、後にエジプト移住

前 13 世紀… [8 モーセ] に率いられてエジプト脱出 (出エジプト)

→ シナイ山で [9 モーセの十戒] を授かる

☆「十戒」のうち、最も大切だと思うものを一つ挙げ、その理由を答えてください！
 宗教的規定四戒 (①~④) 十道徳的規定六戒 (⑤~⑩)

① 私以外の [神] を持つな	⑥ 人を [殺す] な
② [偶像] を崇拜するな*	⑦ [姦淫] するな
③ [神] の名をみだりに唱えるな	⑧ 人のものを [盗む] な
④ [安息日] を聖とせよ	⑨ 隣人について [偽証] するな
⑤ [父と母] を敬え	⑩ 隣人の [もの] を欲しがらな

性的、ふした「らな」こと

⑤ → 自分が生まれてこられたのも、今生きていられるのも父と母のおかげであり、無償の愛を注いでくれる存在だから。

2 メシア思想

○ 歴史的背景

前 11~10 世紀…カナン定住、王国の建設と分裂、他民族支配

前 6 世紀… [10 バビロン捕囚] → 帰還後、ユダヤ教団成立

エゼキヤ：神の声を伝える [11 預言者] のひとり

「捕囚」は神の与えた罰 → モーセの十戒を守れば罰は

[12 メシア] (救世主) による救済を預言

指導者が
 つれていかれた。

歴史的には
 7.12 預言者

→ サウル・ダビデ・ソロモン王の
 治世 (短い黄金期)

× 予言者

○ ユダヤ教団の成立

帰還後、神殿の再建 [13 律法主義] の徹底

サドカイ派、パリサイ派の活動

→ 新たな差別の発生

「じから守るべきだ。」

[14 イエス] の登場

…律法の形式的な遵守ではなく、神の意志の本来の姿が愛にあること (= 神の愛) を説く

形式的には守っているが、本当は神を敬っていない。かたしれたい。

note

人間 → よく間違えをおかす = 仕方がない。神が完全であるから、人間は神の言うことをきくべきである。

唯一神 - 多神

日本はこっち。
 (例) やがらざるの神様

☆ みんなの考え

⑤ … 親がけいせいと自分が存在しはいいから。わかっていてもほかほかできはいいから。

⑧ … あれとやっていたら人のものをとるなんておもしろいから。

⑨ … まっすぐ生きたいから。自分にまっすぐ生きられたら素敵。

* 偶像 … 仏像やお地蔵さん。聖母マリア像などもおもしろいと思われている。

○ 予言者 … 未来をしゃべる人

○ 預言者 … 神からの言葉を預かる人

☆ この授業について (自己評価) …

関心が深まり、意欲的に学べましたか? → [A・B・C] 内容を理解できましたか? → [A・B・C]

memo: まともなところから始まる思想や宗教も、どっさりとはまんにリフキつめていけば

変な方向へとずれてしまうから怖いと思った。心のよこしまさがあるふたつで可なり。

CHECK!
 5/20

<復習問題> 次の問に答えなさい。

- 問1 イスラエル人を特別に選び、天や地をつくりあげた創造主であるユダヤ教の唯一神を何というか。
 問2 ユダヤ教で、神が民族にあたえた宗教と生活のうえの命令を何というか。
 問3 古来から信仰厚き人物の典型とされるイスラエル人の伝説上の始祖とは誰か。
 問4 イスラエル人だけが、神から特別な恩恵を授かり、救われると解する考え方を何というか。
 問5 ユダヤ教の経典で、イエスの出現以前の古い契約の教えと民族の歴史をまとめたものとは何か。
 問6 指導者モーセがシナイ山で神から授かった10カ条の戒律を何というか。(問2の核心)

1 ヤハウェ	2 律法	3 アブラハム
4 選民思想	5 『旧約聖書』	6 モーセの十戒

十戒だけでもOK

<発展問題> 次の問に答えなさい。

問 旧約聖書に登場する宗教的指導者モーセについて述べたものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 王の宮殿で育てられたが、荒野で啓示を受け、奴隷となつて山を同胞を約束の地へと向かわせ、神から授けられた掟を人々に示した。 → 預言者 → エジプト → バビロン捕囚 イエスキエルの預言
- ② 異民族による支配は、多神教の影響による宗教的な墮落や貧者を責める社会的不正に対する神の罰だとして、神の裁きと救済を説いた。
- ③ 山の洞窟で神から啓示を受け、預言者として、礼拝や喜捨などの宗教的義務を果たし敬虔な信仰生活を送るべきことを説いた。 → ムハンマドの教え 2つあり
- ④ 王子として生まれ育ったが、死や病気に直面する人間の苦しみについて思い悩み、王家を出て真理に達し、人々にそれを示した。 → 7ヶ月の預言

答 ② ①

<教科書事前確認(穴埋め予習)>

イエスの教え (p41~42)

【1】の言動は『【2】』のなかの福音書に示されている。【1】は30歳のころ、ヨルダン川のほとりでヨハネによって洗礼を受け、ガリラヤで改革の第一声をあげた。「時は満ちた。【3】は近づいた。【4】で【5】を信ぜよ」(マルコによる福音書)。

【1】の「【3】」とは、イスラエル人がメシアの出現に期待した地上の栄光の国を意味するのではなく、人間が自分本位の考え方を改め、自分の内面に実現すべき世界をさしている。

律法の形式的な遵守と、律法にふくまれている信仰に忠実になることを別次元のものと主張する【1】は、十戒での安息日の労働の禁止を守ろうとする人々の前で、病人に治療をほどこす。また「殺すな。殺す者は裁判を受けねばならない」という律法に対して、イエスは「怒る者はだれでも裁判を受けねばならない」と述べ、人に対して怒りや憎しみをいだく者は、それだけですでに人殺しと同じ罪を犯したのであると説く。すなわち、イエスは行為以前の心の状態を問題にし、律法を守ろうとするときの、神に対して忠実であらうとする心情の大切さを教え、律法の真なる【6】を求めるのである。

【1】は人間が守るべき律法を、二つの戒めであらわした。第一は、【7】を説く「心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、主なるあなたの神を愛せよ」である。第二は「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ」であり、この【8】の教えを、【1】は次のようにも説いている。

「何ごとでも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりせよ」。この命令は【9】とよばれ、キリスト教道徳の最高の教えをあらわすものとして、尊重されるようになった。

神の愛アガペー (p42~43)

【1】は、徴税人や罪人など、律法主義の立場からすれば見捨てられ卑しめられた者でも、【4】れば神からゆるされ、救われると説く。

自分にそむいた者があれば、探し求めてでもその罪をゆるす神の愛は、完全な神が不完全な人間に対して恵む、我欲を離れた絶対愛(【10】)である。【10】としての愛は、価値や報いがあるからそのものを愛するということではなく、無価値と思われるものをこそ愛し、はげまし、勇気づけてくれるものである。この愛は無差別平等の無償の愛として、万人にそそがれる。この神の愛のもとに人間はみな平等なのである。

【1】は、【10】をすべての愛の根本とした。そして、人間は【10】に支えられて、みずからもまた神を愛し、より高次の存在へと高まるように努力すべきであると説いた。

キリスト教の誕生 (p43)

【1】は、【10】のもとに人間はみな平等であり、また貧者や弱者こそ救われると主張した。人類愛の精神をかける【1】のこの教えは、ユダヤ教の律法主義者や祭司たちによって、彼らの権威をおびやかすものと見なされた。彼らによって、【1】は、神を冒瀆し社会の秩序を乱すという理由で告発され、ローマに対する反逆者として、ゴルゴタの丘で【11】刑に処せられた。

だが、【1】は預言どおり、この刑死の三日後に復活して昇天したという信仰が、【1】の弟子たちのあいだに生まれた。やがてこの信仰は、【1】こそ神の子【12】(ギリシャ語でキリスト)であるという信仰となり、ペテロを中心に【1】の教えを説く信徒の集団がつくられた。こうして、【13】が誕生したのである。

【13】が異邦人のあいだにも広がっていく糸口を開いたのは、【14】である。パリサイ派の律法学者でもあった【14】は、復活したイエスの声を聞くという宗教的体験を得て、神中心の生き方へと【15】する。

【14】は、【16】にけがされた人類を救うために、神が神の子としてキリストをこの世におくり、【11】の【1】をいけにえとして、人類の罪をあがなつた(【17】)と考えた。以降、彼はキリスト教の使徒として伝道に従事し、【14】が【18】として発展していく礎を築いた。

1 イエス	2 新約聖書	3 神の国
4 悔い改め	5 福音	6 内面化
7 神への愛	8 隣人愛	9 黄金律
10 アガペー	11 十字架	12 メシア
13 キリスト教	14 パウロ	15 回心
16 原罪	17 贖罪	18 世界宗教

単元の指導と評価

1 単元目標等

教科名 公民	科目名 倫理	学年 3年	クラス 2～4組	単位数 2	担当教諭 小川正明
単元名(題材名)	現代の諸課題と倫理(生命倫理)				
単元(題材)目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生命倫理の問題について、具体的な事例を通して考えさせる。 ・生命科学技术や先端医療が今日どのような倫理問題をもたらしているか、考察させる。 ・これらを通じて、論理的思考力や表現力を身につけさせ、現代に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。 				

2 単元の評価規準

単元の評価規準	学習活動における具体的評価規準(評価方法)
<p>【関心・意欲・態度】</p> <p><input type="checkbox"/> 生命倫理の問題について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする態度をもっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 調べ学習やグループワークを行うことに関心を持ち探求する意欲と態度をもっている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p><input type="checkbox"/> 代理出産の問題を通じて、自己自身の生き方について考え、自己の考え方を整理することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 他人の意見に耳を傾け、広い視野に立ち適切な判断を行うことができる。</p> <p>【資料活用の技能】</p> <p><input type="checkbox"/> 諸情報・諸資料を収集活用し、それに基づいて考察し、自分の考え方を論理的にまとめて適切に表現することができる。</p> <p>【知識・理解】</p> <p><input type="checkbox"/> 臓器移植・生殖医療・クローン技術等についての基本的な知識を身につけている。</p> <p><input type="checkbox"/> その知識に基づき、自己の考え方をもち文章を書き、発表するための実践的な知識を身につけている。</p>	<p><input type="checkbox"/> 教科書や授業の説明を通じて、生命倫理の問題、とくに生殖医療について興味関心をもっているか。(ワークシートの感想文・自己評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 生命倫理(とくに代理出産)についての調べ学習にしっかりと取り組んでいる。(ワークシートの取り組み状況)</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク(グループ内での発表・意見交換)に意欲的に取り組んでいる。(グループワーク後の感想文・自己評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 問題について主体的に考え、自らの考えを整理できている(ワークシートの取り組み内容・定期試験)</p> <p><input type="checkbox"/> 調べ学習やグループワークでの他人の意見をしっかりと受け入れている。(ワークシートの取り組み状況)</p> <p><input type="checkbox"/> 広い視野に立ち、自らの判断の根拠をもって適切な判断を行っている。(ワークシートの取り組み内容・定期試験)</p> <p><input type="checkbox"/> 生命倫理(とくに代理出産)についての調べ学習で、適切な情報・資料をしっかりと収集できている。(ワークシートの取り組み)</p> <p><input type="checkbox"/> それに基づき、自らの考えを整理し表現(発表・文章表現)できている。(グループワークでの評価・定期試験)</p> <p><input type="checkbox"/> 授業で扱った基本的な知識や諸問題を理解し、その知識をしっかりと身につけている。(定期試験他)</p> <p><input type="checkbox"/> 生命倫理(とくに代理出産)について、幸福・正義などの観点から多面的・多角的に考察し、さまざまな立場を踏まえて公正に判断できている。(ワークシートの取り組み・定期試験)</p>

3 指導と評価の計画

(1) 授業の流れ (全 3 時間)

- ① 「生命科学と倫理・概要」 (1 時間)
- ② 「生命科学と倫理・課題探求」 (1 時間)
- ③ 「生命科学と倫理・グループワーク」 (1 時間)

(2) 指導と評価の展開

次程 (時程)	ねらい・学習活動	単元の評価 規準との関連	評 価 方 法 等	留 意 事 項
1	【ねらい】 生命倫理、とくに代理出産に関する課題を取り上げ、生殖技術の発達により生命観の差異が生じるなどの倫理問題が生じていることを理解させる。			
	<input type="checkbox"/> 基本的な知識の習得 ・教科書や説明を通して、生命倫理に関する基本的な知識を身につける <input type="checkbox"/> 資料の読み取り ・新聞記事から代理出産の問題を読み取り、ワークシートにまとめる	関① 資①	<input type="checkbox"/> 授業プリントの取り組み状況の確認 ・すべて取り組めていれば評価A、取り組みがなければ評価C (取り組みを促す) <input type="checkbox"/> ワークシートの取り組み状況の確認 ・すべて取り組めていれば評価A、取り組みがなければ評価C (取り組みを促す)	
2	【ねらい】 情報・資料を収集し、それを基に生命倫理 (とくに代理出産) について考察するために役立つ情報を選択させ、自己の考えをまとめさせる。			
	<input type="checkbox"/> 課題探求 ・諸情報 (インターネット) ・諸資料 (教科書・資料集) を収集する ・それに基づき自己の考えを整理し、ワークシートにまとめる	資② 思①	<input type="checkbox"/> ワークシートの取り組み状況の確認 ・2つ以上の情報や資料を収集してれば評価A、全く収集していなければ評価C (取り組みを援助する) <input type="checkbox"/> ワークシートの取り組み状況の確認 ・収集した情報・資料に基づき自己の考えが文章に適切に表現できていれば評価A、自己の考えを表現できていなければ評価C (取り組みを援助する)	
3	【ねらい】 グループワークを通して、生命倫理 (とくに代理出産) の問題について様々な意見があり、対立が生じることに對して関心を高めさせるとともに、自己の考え方を深化させる。			
	<input type="checkbox"/> グループワーク ・前時までにワークシートにまとめた各自の考えを共有する ・他人の意見を踏まえ、自己の考えを改めて整理する ・グループの意見 (話し合いの内容) をクラス全体に紹介し、相互評価する <input type="checkbox"/> まとめ ・生命倫理を学んだ感想およびグループワークを終えた自己評価と感想をワークシートに記入する	思② 思③ 思④ 関②	<input type="checkbox"/> グループワークの取り組み状況 ・ワークシートをもとに自己の考えをグループ内でしっかりと発表できれば評価A、全く発表しなければ評価C (グループ内評価) <input type="checkbox"/> ワークシートの取り組み状況 ・他人の意見を聞いての感想や自己の考えがどう変化したかを整理できていれば評価A、全く取り組みがなければ評価C (取り組みをグループ内で相互援助させる) <input type="checkbox"/> ワークシートの取り組み状況 ・評価表に基づき他グループの評価をしっかりとできていれば評価A、取り組んでいなければ評価C <input type="checkbox"/> ワークシートの取り組み状況 ・自己評価や感想について理由を含めてしっかりと記入できていれば評価A、取り組みがなければ評価C (取り組みを促す)	

【関】：関心・意欲・態度、【思】：思考・判断・表現、【技】：資料活用の技能、【知】：知識・理解